

「西田幾多郎—生きることと哲学」を読む —純粹経験を中心に—



講師 藤田正勝先生（京都大学教授）

西田幾多郎（1870-1945）が残した言葉に「私はいつまでも一介の坑夫である」というものがあります。西田がどのような人であったのか、どのような思想家であったのか、その言葉でよく表現されていると思います。思想の鉅脈を探し求めてひたすら思索した人、そして「真に生きる」とは何かをかぎりなく追い求めた人でした。

前半では、『西田幾多郎—生きることと哲学』（岩波新書）の第1章「西田幾多郎という人—悲哀を貫く意志」を手がかりに西田幾多郎がどのような人であったのか、その人となりや学問形成のプロセス、さらにはその生涯において経験した事柄（とくに「悲哀」をめぐって）などについて考えてみたいと思います。

後半では、第2章「根源に向かつて—純粹経験」を手がかりに、西田幾多郎の思索の出発点でもあり、その思想の基盤でもある「純粹経験」の概念について、その内容および意義をベルクソンの哲学などにも触れながら考えたいと思います。（藤田先生のコメント）

平成 27 年 8 月 2 日（日）
9:10 ~ 12:30（8:50 受付開始）

会場：信濃教育会生涯学習センター講堂

受講無料（定員 160 名）

【講師プロフィール】

1949 年生まれ。

1982 年西ドイツ・ボーフム大学大学院博士課程修了、博士号取得。

現在、京都大学大学院総合生存学館・教授、
日本哲学史フォーラム代表、西田哲学会理事。

《著書》「若きヘーゲル」（創文社）1986 年

「現代思想としての西田幾多郎」（講談社）1998 年

「西田幾多郎—生きることと哲学」（岩波書店）2007 年

「西田幾多郎の思索世界—純粹経験から世界認識へ」（岩波書店）2011 年

「哲学のヒント」（岩波新書）2013 年 その他

展示コーナー・グッズ販売

西田博士の書、『善の研究』初版本を
展示する他、西田幾多郎記念哲学館
オリジナルグッズを販売します。

【申し込み】

（公社）信濃教育会生涯学習センター

〒399-8204 安曇野市豊科高家 796-3

TEL 0263-72-9991 / 026-232-2258（研究調査部）

FAX 0263-72-9985 / E-mail center@shinkyō.or.jp

石川県西田幾多郎記念哲学館（共催）

〒929-1126 石川県かほく市内日角井 1

TEL 076-283-6600 / FAX 076-283-6320

E-mail nishida-museum@city.kahoku.ishikawa.jp

お申し込みは電話・FAX・E-mail で、住所・氏名をお知らせください。

※上記の応募において寄せられた個人情報 は講座のご案内のみに使用します。

後援：安曇野市教育委員会・かほく市教育委員会